
挟まれ、転落事故に注意

北見 倒れた鉄骨に挟まれ3人がけが エレベーター改修作業中に事故

2018/03/15(木) 18:28

15日午後4時40分ごろ、北見市の商業施設で、交換中のエレベーターのモーターが倒れ、作業をしていた20代と40代の男性会社員3人がけがをした。市内の病院に搬送されたが、いずれも命に別条はないという。北見署によると、3人はビル管理会社の下請け業務として、最上階の7階の上部にある機械室でモーターを交換する作業をしていた。鉄骨でやぐらを組み、重さ2トンの古いモーターをチェーンでつり上げていたところ、何らかの理由でバランスが崩れ、3人は倒れたモーターと鉄骨に挟まれるなどしたという。

建設現場 足場の鉄骨が崩れ

5メートル下の川に転落、死亡

2018/3/16(金) 6:35

15日午後4時すぎ、大阪府の新名神高速道路の工事現場で、橋を建設中に足場の鉄骨が崩れ、現場を指揮していた男性(32)が、およそ5メートル下の川に転落し死亡した。男性は命綱やライフジャケットを身に付けていたということだが、警察は業務上過失致死の疑いも視野に調べる方針。新名神の建設現場では事故が相次ぎ、ほかにも6人が死亡していて、2016年、兵庫・神戸市で、橋桁が落下して2人が死亡した事故の関係者が16日、書類送検される見通し。